

東京農工大 久保 知義

昭和女大 ○菊地 美知子 岡村 浩

目的 衣料革は、種々の動物皮から異なった方法で製造され、化学組成、機械的性質そして外観的な性状が一様でない。しかし、その使用目的は衣料/つである。そこで衣料素材としての革の製造方法、品質規格などを確立すること、衣料加工上の特性をは握することを最終目的として、まず、現行市販されている種々の衣料革の一般性状を調べた。

方法 試料衣料革は、成牛/種、小牛3種、豚2種、山羊4種、羊3種である。化学組成分析、機械的性質の引張強さ、伸び、引裂強さは、JIS K 6550、剛軟度は、JIS L 1096 により測定した。さらに、走査型電子顕微鏡により革の表面、裏面及び断面を観察した。

結果 1) 化学分析結果から、牛革、豚革は、主にクロム主体のなめしで、脂肪分5~10%であった。山羊革と羊革は、クロム主体のなめしのもとの、他のなめし剤との複合なめしものがあり、後者は脂肪分が多く(11~18%)、油なめしとの複合なめしと推定される。2) 試料とした革の動物種類別の主な性状は、下表に示す通りである。

	成牛革	子牛革	豚革	山羊革	羊革
面積 DS/枚	196.6	65 ~ 93	約100	53 ~ 73	60 ~ 86
厚さ mm	0.84	0.73 ~ 0.83	0.64 ~ 0.75	0.52 ~ 1.01	0.76 ~ 0.99
見掛比重 g/cm <sup>3</sup>	0.455	0.506~0.539	0.538~0.595	0.415~0.453	0.446~0.513
引張強さ kgf/mm <sup>2</sup>	1.2	1.7~2.0	0.5 ~ 1.0	0.9 ~ 2.1	1.33 ~ 1.79
伸び %	62	61 ~ 80	28 ~ 46	54 ~ 81	51 ~ 64
引裂強さ kgf/mm	2.3	2.5 ~ 2.8	0.8 ~ 0.7	1.2 ~ 4.8	1.4 ~ 1.5
剛軟度 mgf	264	300 ~ 402	302 ~ 332	104 ~ 377	252 ~ 491